



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和6年度学校だより
No.12 3月号
令和7年2月28日(金)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

令和6年度 残りひと月!!

今年度も、いよいよ残り一か月となりました。2月末の27日は、茨城県立高校の入試日です。県立高校を第一志望に掲げた生徒は、多分普段よりも朝早く、起きそして家を出て、それぞれの目的地へと向かったことと思います。すでに進路の決まった生徒も含めて、この日、3年生は一人も登校して来ないので、朝の始業前の時間は、いつもよりも人が少なく、いささか寂しいような昇降口界隈でした。

話を少し変えます。「じゅけん」ということについて触れます。県立高校の入試は、漢字で「受験」と書きます。その理由は、「検」定試験を「受」けるからこの二文字を取っての「受験」です。言わば、教育界における業界用語であり、あまり一般的ではありません。しかしながら「じゅけんひょう」も「受験票」と書きます。

一方で私立高校の入試は、「受験」と書きます。念のため複数(六つ)の高校の入試要項に目を通しましたが、すべて「受験」という文言が使われていました。

さて、本題です。よく「げんをかつぐ」という言葉を聞きます。これはアスリートなどが試合でよい結果が出たときに、「次もまたよいことがありますように」と祈って、繰り返している同じことを行うことなどです。実はこの言葉は、漢字では『験』を担ぐ」と書きます。『験』には「運」とか「縁」といった意味があります。つまり、入学試験というのは、自分が志望する学校と「験-縁」があるかどうかを「試す」機会です。

果たしてそれぞれの志望校と縁があるのかが分かる結果発表まではもう少しです。自分の夢、目標がはっきりとしているときには、その縁を手繰り寄せられるように、できるだけ早めに計画と準備に取り掛かるようにしましょう。(3年生の今後、1・2年生もみなさんの合格を祈念します。



Newer Building & Older Building

佐野中の写真として使われることのあまりないこの写真、敷地内の西側、テニスコート前の大銀杏の付近から撮影したものです。

本校の校舎は、校内を端から端まで歩くと、とても広いと感じます。校舎の名前は南側から順に、「本館」・「A棟」・「B棟」・「C棟」と、全部で四つの棟があります。ここに掲載した写真は、向かって右側がA棟、向かって左側がB棟です。このA棟が今年の1月末に外壁塗装工事を終えた校舎です。正面の渡り廊下もきれいに塗装されました。写真ではどちらが塗りたてなのか分かりづらいところもありますが、この写真であっても拡大していただくと、塗り終えてからまだ日の浅い校舎の白が、雲の色と遜色ないほど眩い色に見えます。ちなみに現在の見た目とは違って、建築されてからの年数が浅いのは、実はB棟のようです。

先月号では詳しく紹介しきれなかったのも、あらためて記事として取り上げた次第です。

令和7年の2月も今日で終わります。今年は、久しぶりに気温の低い冬になったと感じます。1年前の2月と比べてみると、昨年、最高気温が10℃を上回ったのは20日間、今年は8日間でした。最低気温については、氷点下の日は昨年が10日間、今年は18日間でした。ちなみに昨年は閏年で29日までありました。今年のデータは、2月25日現在のデータです。話を広げれば、昨年2月の最高気温は20.9℃、今年の最高気温は16.2℃、昨年2月の最低気温は-3.9℃、今年の最低気温は-6.3℃でした。

寒い冬は苦手な人やだという人はいますが、やはり冬は冬らしくあってほしいと思います。今年は冬らしくてよかったと思っています。しかしながら、吐く息が白く色づくことは、まずありませんでした。欲を言えば、雨や雪などの降る、もっとお湿りのある冬だとよかったなと思っています…。

今年は、毎年、桜に先駆けて咲く梅の花もまだ見かけていませんが、すでに梅が咲いたところでは、例年よりも2週間ほど遅れての開花と伺っています…。

寒さはまだ去りませんが、春の訪れまではもう少しのところまで来ているのではないのでしょうか。間もなく迫った卒業式、この日だけは少しだけでも春らしさの感じられる、麗らかな日であってほしいと願っています。



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時と空 人の間を 燦々と 照らし続けて 輝かす今

今年度も残りわずかとなりましたが、第3回の授業参観が行われました。

第1回の授業参観の頃と比べると、1年生にも中学生らしさが出てきたように思います。ひと月後には4月を迎え、新しい学年になります。学級が変わり、後輩が入ってくることによって、環境の変化があると思いますが、また新たな1年に向けて頑張ってください。



美術の授業から

2年生の美術の時間に、修学旅行の班別活動でより深く仏像を鑑賞できるように、「仏像の魅力」という授業を行いました。学習内容は、飛鳥時代から鎌倉時代にかけての時代による仏像の変化と、仏の種類である如来、菩薩、明王、天部についての解説をしました。

修学旅行でいい仏像が見られる寺として、東大寺、三十三間堂、東寺、平等院鳳凰堂の説明をしました。その後、各自が興味をもった寺と見られる仏像についてタブレットを使って調べました。



2月27日(木)、28日(金)に行われる県立高校学力検査に向けて学習に励む3年生。どの授業でも、受検対策の学習に取り組み、ラストスパートをかけているところです。緊張感のある中で、黙々と課題に取り組む生徒たち。授業の終わりが近づくと、疑問点を質問し、解決する姿が見られました。



また、英語科の学習では Discover Japan の単元で、日本の伝統や文化などを AET や外国の人たちに紹介する学習を行いました。寿司、扇子、こたつ、わび・さびなど、生徒たちの視点から新たな発見があり、発表を聞いている生徒たちも審査員として真剣に評価していました。発表の最後には AET の先生から賞状が贈られ、たくさんの笑顔で終わることができました。



佐野中から見たある日の風景



ある日のこと、本校3階から見えた景色に目を疑いました。よく見れば高圧線の鉄塔です。しかしながら、まるでウルトラマンに出てくる怪獣のようなものが外に立っているように見えました。これらの鉄塔は何がしかの修繕が必要で、あるものを身に纏っています。この機会を逃すと青空とともに記録に残すことはできないと思い、撮影しました。ぜひ一度近くから、また、遠くから、できれば高いところから眺めて、他の鉄塔と見比べてみてください。